

平成 30 年 6 月

全国大学音楽教育学会会員 各位

全国大学音楽教育学会関西地区学会会員 各位

全国大学音楽教育学会関西地区学会

会 長 山 岸 徹

(学会印省略)

**全国大学音楽教育学会 関西地区学会
平成 30 年度 総会、及び前期研究会開催のご案内
(最終案内)**

拝啓 初夏の候、会員の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は関西地区学会にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、予てよりお伝えしておりました「全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 30 年度総会、及び前期研究」の詳細が下記の通り決まりましたのでご案内を申し上げます。**(開会時刻と会場にご注意下さい。)**

今年には役員の改選年次にあたりますので総会で役員選挙も行います。研究会では会員による 5 件の研究発表がございます。また、**相澤 保正 先生 (全国大学音楽教育学会顧問、弘前医療福祉大学短期大学部学長)**をお迎えし、講演をしていただきます。研究会終了後には情報交換会も予定しております。

皆様におかれましてはご多忙のことと存じますが、ご参加下さいますようお願いいたします。 敬具

記

1. 名 称 全国大学音楽教育学会 関西地区学会 平成 30 年度総会、及び前期研究会
2. 日 時 **平成 30 年 7 月 8 日 (日) 12:30 より 16:30** (12:00 受付開始)
3. 会 場 **大阪市立総合生涯学習センター 第 1 研修室** TEL 06-6345-5000
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第 2 ビル 5 階
4. 内 容 総会 (12:30)、研究口頭発表 (13:40)、研究演奏発表 (14:10)
(開始予定時刻) 講演 (15:00) 講師：相澤 保正 先生
演題：創造することと経験すること
5. 情報交換会 会場：四川料理 御覆 (イーファー) 大阪マルビル梅田本店
(大阪市北区梅田 1-9-20 大阪マルビル 8 階) TEL 06-6343-6320
(17:00~19:00) *開始時刻が「第一次案内」記載の時刻より 30 分繰り上がりました。
6. 参 加 費 用 ・研究会参加費：会員 1,000 円 (一般 2,000 円・学生 500 円)
・情報交換会参加費： 6,000 円
*会員の皆様は、平成 30 年度の年会費 7,000 円も同時にお納め下さい。
*お支払いは、当日受付にてお願い致します。
なお、できるだけ釣り銭のないようにご準備下さい。
7. 申込み方法 **申し込み締め切り日： 6 月 29 日 (金) (必着)**

同封の返信用ハガキにて必ず総会、研究会、情報交換会のご出欠をお知らせ下さい。

なお、情報交換会につきましては当日のキャンセルはできかねます。

(キャンセルの場合は、必ず 7 月 6 日 (金) までに下記へお知らせ下さい。)

お問い合わせ、及び一般の方のお申し込みは、下記までお願いいたします。

関西地区学会事務局長：永井正幸

E-mail m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp

以上

《研究口頭発表》

1. 鷺見 三千代 (園田学園女子大学短期大学部) 「子育て支援室における音楽活動」

《研究演奏発表》

1. ピアノ独奏 久野 以早夫 (東京福祉大学名古屋キャンパス)
シューベルト作曲：「即興曲」作品90の3
2. ピアノ独奏 的場 里美 (夙川学院短期大学)
ラフマニノフ作曲：「プレリュード」ト短調 作品23の5
3. ピアノ連弾 フリモ：山本 敬子 (武庫川女子大学)、セコンド：生地 加代 (武庫川女子大学)
ゲッツ作曲：「四手のためのピアノ・ソナタ」作品17より 第1楽章
4. ピアノ連弾 フリモ：白倉 朋子 (大阪芸術大学)、セコンド：深田 直子 (大阪総合保育大学)
ドビュッシー作曲：『小組曲』より
1. 「小舟にて」、2. 「行列」

《相澤保正先生のご講演について》

相澤保正先生からはご講演の要旨としまして次のような文章をいただいております。

なお、紙面の都合、相澤先生のご了解のもと、項目のみを掲載させていただきました。お預かりしております要旨の全文は、当日に配布するプログラムに掲載いたします。

全国大学音楽教育学会／関西地区学会 講演の要点

演題【創造することと経験すること】

◆各種プロジェクトへの参加と創造

〈道のないところに道をつける〉—そのことが—

- ①ヒット商品を開発する。
- ②学生の大学入学の希望 (小学校の教師になる) を叶える。
- ③学生が、自ら音楽的な表現を創造する喜びにつながる演習内容設定の工夫。
- ④地域社会のためになる。
- ⑤新しい大学を開学する。
- ⑥我が国の短期大学で、初の学科を開設する。

◆経験から学んだこと

〈経験した人間にしか、分からないことがある〉—そのことが—

- ①日本ショパン協会北海道支部の創設から、事務局員としてかかわり、世界と日本の一流アーティストから学んだこと。
- ②青年期から壮年期にかけて、身近な人々から学んだこと (手本になった優れたこと)。
- ③論文のテーマは、現場に沢山ころがっている。
